1. 事業結果概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水産資源について、琵琶湖栽培漁業センター（山田筏種苗生産施設を含む）、琵琶湖周辺の水田および人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に努めた。

特にアユ資源については、近年の漁獲の不安定な状況が続く中、令和元年度秋はアユ人工河川の稼働と一定量の天然産卵があったことにより回復の傾向にはあるが、令和2年度も引き続きアユ資源の動向には注視する必要がある。

（1）　ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

1．卵、ふ化仔魚（ふ化仔魚換算値で21,992千尾）を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田530反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長24.3mmに成長した稚魚9,237千尾を琵琶湖へ流下させた。（国交付金、県補助事業）

2．県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚2,050千尾を5月に赤野井湾周辺の水田59反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約1か月後の中干し時に857千尾が流下した。（県受託事業）

3．体重20.2gの大型種苗991千尾を栽培漁業センターおよび草津市北山田地先筏施設で生産し、10月から12月にかけて琵琶湖全域に放流した。（国交付金、県補助事業）

4．体重13.7gの大型種苗95千尾を滋賀県漁業協同組合連合会より購入し、10月に琵琶湖北湖に放流した。（独自事業、一部寄付金充当）

5．放流の効果を把握するため、種苗の一部にALC標識を付け放流した。春・冬季に漁獲魚の標識調査を行った。（国交付金、県補助事業）

特に、北湖において冬季漁獲物標識調査による放流魚の混獲率は46.4%（前年は39.3%）と推定された。漁獲魚は3才～5才が主であった。

6．各種団体の放流用種苗 2,042千尾を生産した。（独自事業）

	実績	計画
1. 水田放流(2㎝種苗流下数)	24.3mm　9,237千尾	20.0mm　8,000千尾
2. 赤野井湾周辺水田放流（ふ化仔魚数）	5.0mm　2,050千尾	5.0mm　2,000千尾
3. 大型種苗生産放流	20.2g 991千尾	20.0g　900千尾
4. 大型種苗購入放流	13.7g　95千尾	20.0g　75千尾
5. 標識調査(混獲率(調査尾数))		
春季南湖漁獲物	52.7%（301尾）	
冬季北湖漁獲物	46.4%（741尾）	
6. 放流用種苗の生産	2,042千尾	2,000千尾

（2）　ホンモロコ増殖事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

1．ふ化仔魚 30,908 千尾を 5 月から 6 月にかけて琵琶湖周辺の水田 870 反に放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 22.2mmに成長した稚魚 9,303 千尾を琵琶湖へ流下させた。（県補助事業）

2．県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 2,040 千尾を 5 月に赤野井湾周辺の水田 58 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約 1 か月後の中干し時に 479 千尾が流下した。（県受託事業）

	実績	計画
1. 水田放流(2 ㎝種苗流下数)	22.2mm　9,303 千尾	20.0mm　9,000 千尾
2. 赤野井湾周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm　2,040 千尾	5.0mm　2,000 千尾

（3）　人工河川管理運用事業　（県受託事業）

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

1．養成親魚 8 トンを 8 月末から 9 月上旬にかけて安曇川人工河川に放流した。

2．姉川において天然親魚 5.2 トンを特別採捕し、9 月上旬に姉川人工河川、近隣の常水河川に放流した。

	実績	計画
1. 養成親魚放流	8 トン	8 トン
2. 天然親魚放流	5.2 トン	4 トン

R 1 年度の流下ふ化仔魚尾数 25.2 億尾

（4）　湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、適度な水草や多様なプランクトンにより育まれる豊かな琵琶湖の生態系を保全するため以下の事業を行った。

ゲンゴロウブナ

1．ふ化仔魚 2,588 千尾を 5 月から 6 月にかけて早崎内湖(長浜市)及び西の湖の周辺水田の計 65 反に放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 20.5mmに成長した稚魚 1,359 千尾を琵琶湖へ流下させた。（県受託事業）

2．水産多面的機能発揮対策事業を行う活動組織の放流用種苗 62 千尾を生産した。（独自事業）

	実績	計画
1. 水田放流(2 ㎝種苗流下数)	20.5mm 1,359 千尾	20.0mm　1,000 千尾
2. 放流用種苗の生産	62 千尾	－

ワタカ

1．ワタカ種苗を栽培漁業センターで生産し、3 月に平均全長 39.3mm、26 千尾を主に南湖に放流した。(独自事業（寄付金充当))

2．ワタカ種苗の放流の効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。(受託事業)

3．水産多面的機能発揮対策事業を行う活動組織等の放流用種苗 124 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1. ワタカ種苗放流	39.3 ㎜ 26 千尾	50.0 ㎜ 15 千尾
2. 標識調査(混獲率(調査尾数))	95.2%(298 尾)	
3. 放流用種苗の生産	124 千尾	220 千尾

（5） 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および自然のままの産卵繁殖場を保全管理することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

1．沿岸漁業整備開発事業により設置された増殖場（21 箇所）および南湖の砂地造成漁場(1 箇所)について、施設の機能維持と湖上事故防止のため、施設の破損や集魚状況等の確認、標識灯太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採等を行った。(県受託事業)

2．水産業および漁村の有する多面的機能の発揮に資する活動を推進することを目的として設置された協議会の運営経費の管理を行うとともに活動組織への交付金を交付した。(受託事業)

3．琵琶湖においてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、長浜市、彦根市、東近江市、近江八幡市、草津市、野洲市および高島市の計 7 箇所の魚のゆりかご水田水域において親魚の遡上産卵、仔稚魚の生育状況調査を行った。(独自事業)

	実績	計画
1. 沿整増殖場等管理点検	22 箇所	22 箇所
2. 水産多面的機能発揮対策協議会	会計事務の受託	会計事務の受託
3. 産卵繁殖場の調査	7 箇所	8 箇所

（6） 水産加工業振興対策事業（独自事業)

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。

1．「水産加工業振興対策資産」2 億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。
（貸付期間 平成 29 年 4 月～令和 2 年 9 月まで)

	実績	計画
1. 水産加工業協同組合資金貸付額 (利率)	2 億円（利率 0.025%）	2 億円（利率 0.025%）

（7）　情報提供事業（独自事業）

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。

1．「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。

2．インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。
http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake

	実績	計画
1.協会ニュース発行	150部	150部
2.ホームページ	随時更新	随時更新

事業結果の附属明細

1　ニゴロブナ

表１　ニゴロブナの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数（千尾）	体型	尾数（千尾）	体型
水田放流						
	R1/5～6月	琵琶湖一円	9,237	24.3㎜	2,533	24.3㎜
	R1/5月	赤野井湾周辺	2,050*1	5.0㎜	2,050*1	5.0㎜
大型種苗						
	R1/10～12月	南湖	329.6	20.3g	31.2	20.3g
		北湖	661.8	20.2g	118.6	20.2g
	R1/10月（購入）	北湖	94.9	13.7g		
	小計		1086.3		149.8	

*1；ふ化仔魚数。2㎝サイズの流下尾数は857千尾（滋賀県水産試験場調べ）

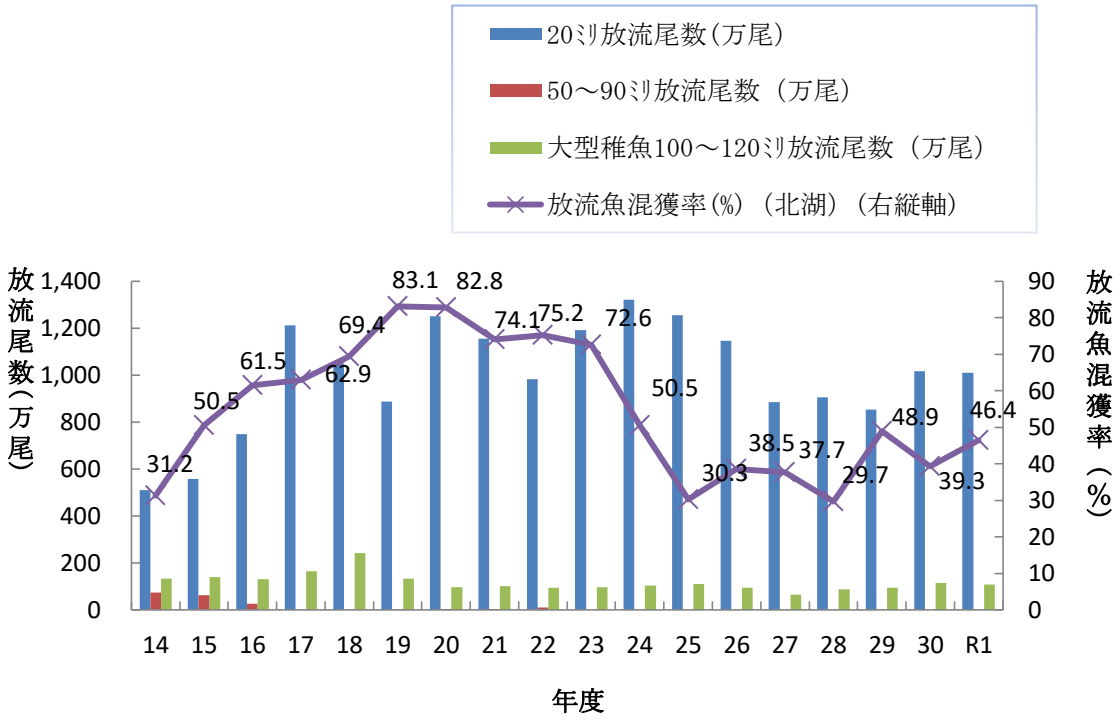


図１　ニゴロブナの年度別放流尾数(万尾)及び放流魚混獲率(%)の推移

２　ホンモロコ

表２　ホンモロコの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数（千尾）	体型	尾数（千尾）	体型
水田放流						
	R1/5～6月	琵琶湖一円	9,303	22.2㎜	2,007	22.2㎜
	R1/5月	赤野井湾周辺	2,040*1	5.0㎜	2,040*1	5.0㎜

*1；ふ化仔魚数。2㎝サイズの流下尾数は479千尾（滋賀県水産試験場調べ）

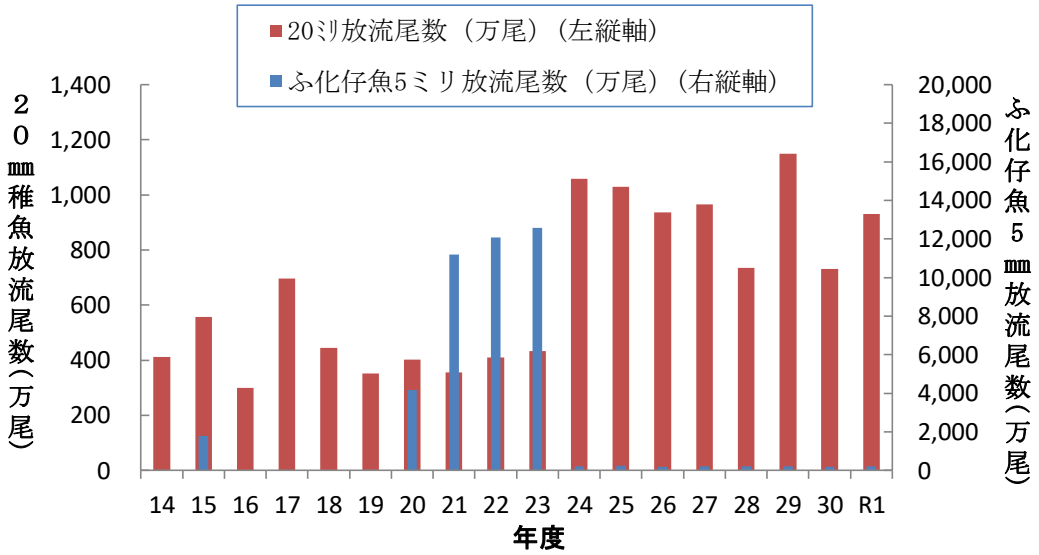


図２　ホンモロコの年度別放流尾数（万尾）の推移

３　アユ

表3　養成アユ親魚の放流結果（安曇川人工河川）

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
8/27	2,400	58.4	41.1	20.1	54.5	2区、3区
8/28,29	2,000	48.3	41.4	18.9	50.0	7区
8/29	1,000	24.3	41.2	17.6	46.2	3区
9/3	1,600	73.1	21.9	15.4	60.2	4区、5区
9/3	1,000	38.0	26.3	17.3	46.7	4区
計(平均)	8,000	242.1	33.1	18.2	53.3	

＊雌親魚の生殖腺重量比

表4　天然（特採）アユ親魚の放流結果（姉川人工河川、周辺河川）

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
9/4-9/6	3,787	425.5	8.9	8.4	57.5	人工河川 1区～3区
9/6	1,360	152.8	8.9	8.4	57.5	近隣河川(田川)
計(平均)	5,147	578.3				

＊雌親魚の生殖腺重量比

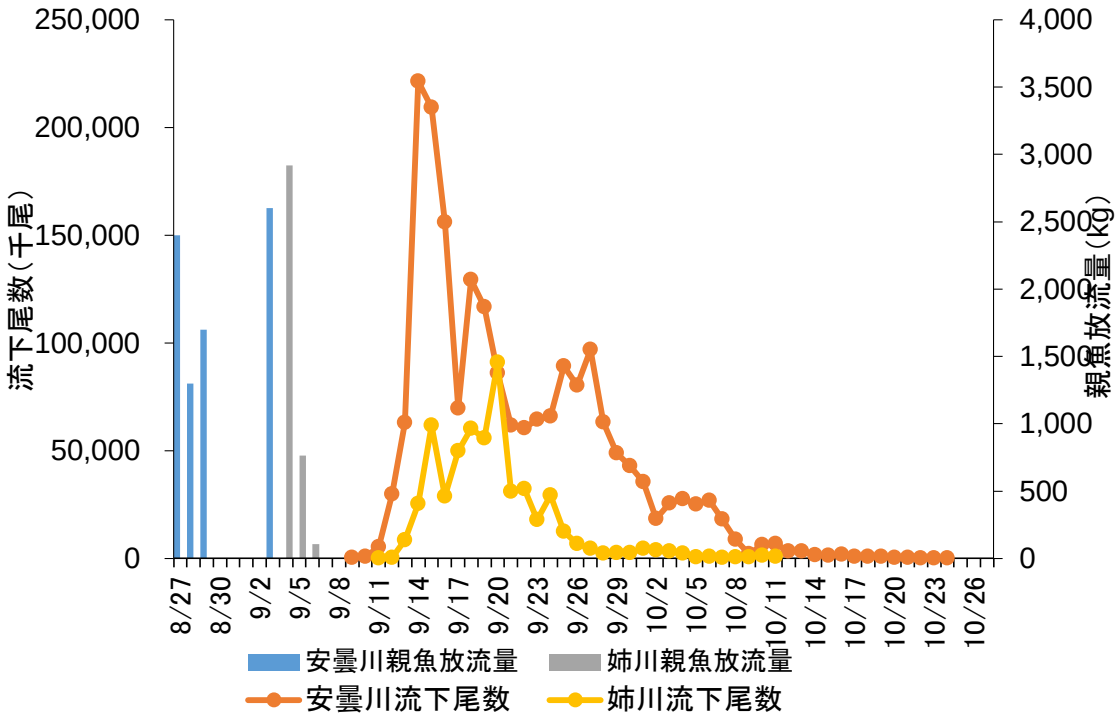


図3　人工河川流下ふ化仔魚数の推移

表５　流下ふ化仔魚数調査結果

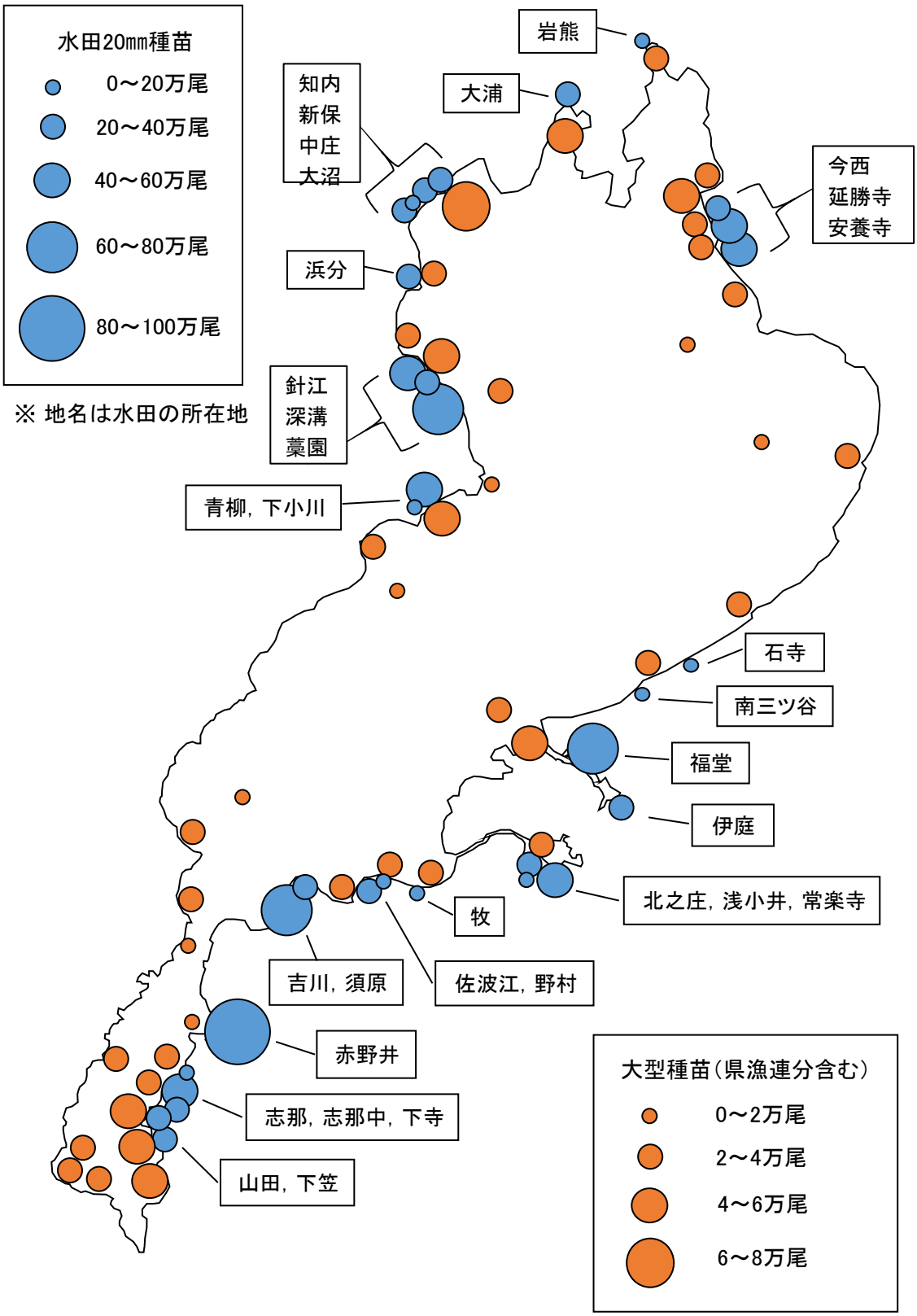
場所	親魚区分	親魚放流量（kg）	雌親魚量[*1]（kg）	流下仔魚数（百万尾）	流下率[*2]（%）	
					本年度	平年値[*3]
安曇川人工河川	養成親魚	8,000	4,000	1,976	49.4	35.2
姉川人工河川	天然親魚	3,787	1,894	541	28.6	24.3
合計		11,787	5,894	2,517	42.7	34.6

*1 雌重量比は50%とする。

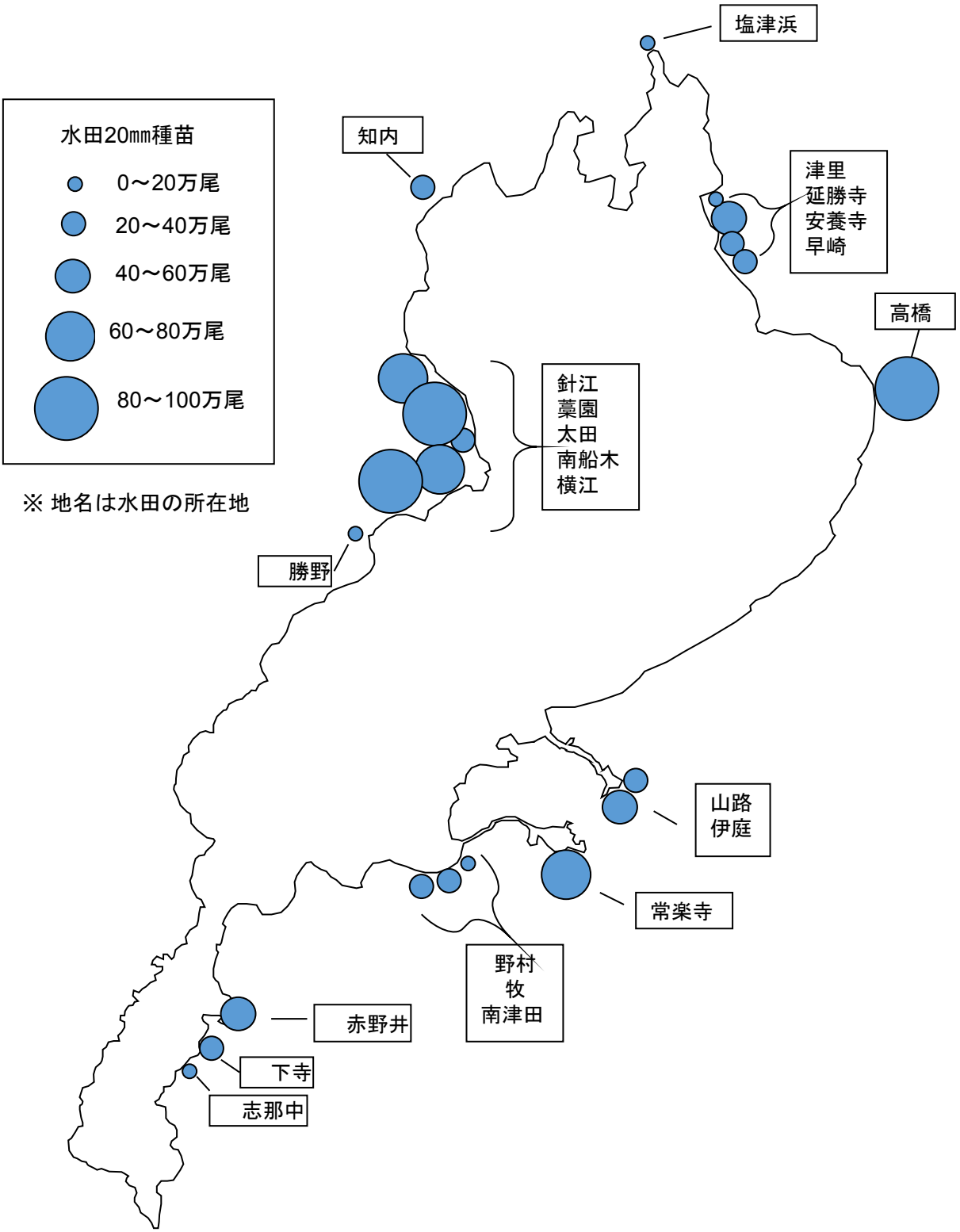
*2 流下仔魚数／雌親魚の推定抱卵数（ｇ体重当り1,000粒とする）

*3 過去10年間の平均

令和元年度 ニゴロブナ放流場所 附属明細　参考資料1



令和元年度 ホンモロコ放流場所 附属明細 参考資料2



貸借対照表

令和 2　年3 月31日現在

（単価：円）

科目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	3,884,975	2,639,037	1,245,938
未収金	2,410,980	5,320,256	-2,909,276
流動資産合計	6,295,955	7,959,293	-1,663,338
2．固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
温水魚資源対策積立資産	824,275,879	844,775,879	-20,500,000
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	200,000,000	0
鮎資源対策積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	20,630,320	19,253,735	1,376,585
特定資産合計	1,054,906,199	1,074,029,614	-19,123,415
(3) その他固定資産			
建物	243,986,375	243,986,375	0
構築物	321,936,405	321,936,405	0
車両運搬具	2,919,624	2,720,464	199,160
什器備品	102,916,418	103,274,478	-358,060
船舶	7,700,000	7,700,000	0
減価償却累計額	-572,175,921	-561,620,658	-10,555,263
電話加入権	257,227	257,227	0
その他固定資産合計	107,540,128	118,254,291	-10,714,163
固定資産合計	1,173,446,327	1,203,283,905	-29,837,578
資産合計	1,179,742,282	1,211,243,198	-31,500,916
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	3,234,702	4,293,097	-1,058,395
預り金	295,568	651,000	-355,432
流動負債合計	3,530,270	4,944,097	-1,413,827
2．固定負債			
退職給付引当金	20,630,320	19,253,735	1,376,585
固定負債合計	20,630,320	19,253,735	1,376,585
負債合計	24,160,590	24,197,832	-37,242
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	1,045,275,879	1,065,775,879	-20,500,000
（うち基本財産への充当額）	11,000,000	11,000,000	0
（うち特定資産への充当額）	1,034,275,879	1,054,775,879	-20,500,000
2．一般正味財産			
一般正味財産合計	110,305,813	121,269,487	-10,963,674
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	1,155,581,692	1,187,045,366	-31,463,674
負債及び正味財産合計	1,179,742,282	1,211,243,198	-31,500,916

正味財産増減計算書内訳表

平成　31 年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

（単位:円）

科　　目	公益目的会計	法人会計	合　　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[24,200]	[24,200]	[48,400]
基本財産受取利息	24,200	24,200	48,400
特定資産運用益	[4,390,026]	[3,675,616]	[8,065,642]
特定資産受取利息	4,390,026	3,675,616	8,065,642
受取補助金	[30,444,000]	[0]	[30,444,000]
ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金（県）	22,506,000		22,506,000
ホンモロコ 資源回復対策事業費補助金(県)	7,938,000		7,938,000
受取受託費	[39,522,240]	[0]	[39,522,240]
赤野井湾ﾆｺﾞﾛﾌﾞﾅ・ﾎﾝﾓﾛｺ種苗放流事業受託費	3,190,000		3,190,000
人工河川管理運用事業受託費	30,548,000		30,548,000
ゲンゴロウブナ種苗生産放流事業受託費	2,530,000		2,530,000
種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費	200,000		200,000
沿整増殖場管理点検事業受託費	2,204,240		2,204,240
水産多面的機能発揮協議会 運営事業 受託費	850,000		850,000
受取負担金	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
受取分担金	3,000,000		3,000,000
受取寄付金	[21,700,000]	[0]	[21,700,000]
受取寄付金	1,200,000		1,200,000
受取寄付金振替額	20,500,000		20,500,000
雑収益	[5,730,186]	[0]	[5,730,186]
受取利息	60		60
雑収益	5,730,126		5,730,126
経常収益計	104,810,652	3,699,816	108,510,468
(2) 経常費用			
事業費	[115,751,722]	[0]	[115,751,722]
役員報酬	3,579,520		3,579,520
給料手当	27,371,028		27,371,028
臨時雇賃金	4,204,452		4,204,452
福利厚生費	6,712,089		6,712,089
旅費交通費	334,349		334,349
通信運搬費	346,861		346,861
原材料費	25,107,270		25,107,270
消耗品費	3,260,892		3,260,892
秋稚魚購入費	3,000,000		3,000,000
修繕費	2,263,508		2,263,508
印刷製本費	16,425		16,425
燃料費	883,824		883,824
光熱水料費	9,576,029		9,576,029
賃借料	4,013,700		4,013,700
保険料	729,461		729,461
租税公課	173,550		173,550
支払負担金	1,580,049		1,580,049
手数料	47,308		47,308
委託費	7,739,991		7,739,991
衛生費	36,867		36,867
消費税	1,389,507		1,389,507
退職給付費用	1,321,522		1,321,522
減価償却費	12,063,520		12,063,520

科　　目	公益目的会計	法人会計	合　　計
管理費	[0]	[3,699,816]	[3,699,816]
役員報酬		1,089,880	1,089,880
給料手当		1,130,287	1,130,287
福利厚生費		410,343	410,343
会議費		11,962	11,962
交際費		38,056	38,056
旅費交通費		165,331	165,331
通信運搬費		30,588	30,588
消耗品費		17,347	17,347
修繕費		0	0
印刷製本費		1,179	1,179
燃料費		670	670
光熱水料費		11,820	11,820
賃借料		24,812	24,812
保険料		788	788
租税公課		1,200	1,200
支払負担金		212,491	212,491
手数料		4,034	4,034
嘱託料		416,700	416,700
委託費		1,961	1,961
衛生費		2,647	2,647
雑費		7,958	7,958
退職給付費用		55,063	55,063
減価償却費		64,699	64,699
経常費用計	115,751,722	3,699,816	119,451,538
評価損益等調整前当期経常増減額	-10,941,070	0	-10,941,070
評価損益等計	0		
当期経常増減額	-10,941,070	0	-10,941,070
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	22,604	0	22,604
什器備品除却損	22,604	0	22,604
経常外費用計	22,604	0	22,604
当期経常外増減額	-22,604	0	-22,604
当期一般正味財産増減額	-10,963,674	0	-10,963,674
一般正味財産期首残高	121,269,487	0	121,269,487
一般正味財産期末残高	110,305,813	0	110,305,813
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-20,500,000		-20,500,000
当期指定正味財産増減額	-20,500,000		-20,500,000
指定正味財産期首残高	1,065,775,879	0	1,065,775,879
指定正味財産期末残高	1,045,275,879	0	1,045,275,879
Ⅲ　正味財産期末残高	1,155,581,692	0	1,155,581,692

財産目録

令和2年 3月31日現在

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金　額
（流動資産）					
	現金		手元保管	運転資金として	36,793
	普通預金		滋賀銀行下笠代理店	運転資金として	3,378,267
			関西みらい銀行草津西支店	運転資金として	469,915
				〈現金・預金計〉	**3,884,975**
	未収金	ﾎﾝﾓﾛｺ資源回復対策事業補助金	滋賀県農政水産部水産課	公益目的事業（補助金等）の未収金(4件)	553,000
		滋賀県人工河川管理運用事業受託費	〃		641,000
		沿整増殖場管理点検事業受託費	〃		366,980
		水産多面的機能発揮対策協議会運営費事業受託費	滋賀県水産多面的機能発揮協議会		850,000
				〈未収金計〉	**2,410,980**
流動資産合計					**6,295,955**
（固定資産）					
基本財産					
	投資有価証券	投資有価証券		基本財産の運用益は公益目的事業費および管理費に使用している。 50%を公益目的事業費、50%を管理費に充てている。	
		地方債	野村證券(株)大津支店		11,000,000
				〈基本財産計〉	**11,000,000**
特定資産					
	温水魚資源対策積立資産			温水魚資源対策積立資産は公益目的保有財産として満期保有目的で保有し、運用益は公益目的事業費および管理費に使用している。	824,275,879
		社債	SMBC 日興証券(株)京都支店		(199,940,000)
		地方債	〃		(99,955,000)
		社債	野村證券(株)大津支店		(150,000,000)
		地方債	〃		(80,000,000)
		地方債	滋賀銀行下笠代理店		(100,000,000)
		社債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)京都支店		(150,000,000)
		大口定期　1口	滋賀銀行下笠代理店		(30,000,000)
		決済用普通預金	滋賀銀行下笠代理店		(14,161,906)
		決済用普通預金	関西みらい銀行草津西支店		(218,973)
	水産加工業振興対策積立資産			水産加工振興対策積立資産は公益目的保有財産として保有し、水産加工業振興対策事業の資金として使用している。	200,000,000
		水産加工業活性化資金　貸付金	滋賀県水産加工業協同組合		(200,000,000)
	鮎資源対策積立資産			鮎資源対策積立資産は公益目的保有財産として満期保有目的で保有し、運用益は公益目的事業費に使用している。	10,000,000
		地方債	野村證券(株)大津支店		(10,000,000)
	退職給付引当資産			退職給付引当資産は職員の退職給与金の財源として積み立てている。	20,630,320
		普通預金	滋賀銀行下笠代理店		(3,630,320)
		大口定期	〃		(7,000,000)
		社債	SMBC 日興証券(株)京都支店		(10,000,000)
				〈特定資産計〉	**1,054,906,199**
その他固定資産	建物				243,986,375
		栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務としている。	(88,750,000)
		栽培漁業センター・生産棟・揚水機場	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(153,000,000)
		栽培漁業センター・車庫・倉庫	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(2,236,375)
	減価償却累計額				-172,973,997

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金　　額
	構築物				321,936,405
		栽培漁業センター・取水施設	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(21,000,000)
		栽培漁業センター・養成池	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(156,879,705)
		栽培漁業センター・給排水施設等	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(58,646,300)
		筏　29基	草津市北山田町地先	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(85,410,400)
	減価償却累計額				-289,367,298
	車両運搬具				2,919,624
		フォークリフト1台　自動車3台	草津市志那町字柿根1393-2 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	
	減価償却累計額				-2,820,041
	什器備品				102,916,418
		管理棟内備品	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務としている。	(6,758,000)
		生産棟内備品	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(3,087,360)
		揚水機(付帯設備含む)	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(63,145,000)
		ふ化水槽 10槽 ステンレス製水槽枠 1個	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(1,769,640)
		コンプレッサー 2台	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(756,000)
		ジェットウォッシャー 1台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(315,360)
		圧力式循環濾過器 24台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(19,039,550)
		船外機 1台	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(259,875)
		冷却機 5台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(1,459,500)
		自家発電機 4台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(4,363,185)
		活魚移送ポンプ	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(1,260,000)
		魚計量装置	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(367,500)
		アルテミア孵化水槽	〃	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(335,448)
	減価償却累計額				-99,314,587
	船舶	作業船4隻	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	7,700,000
	減価償却累計額				-7,699,998
	電話加入権				257,227
		077-568-3451 他3台		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(171,022)
		安曇川人工河川	高島市安曇川町北船木		
		姉川人工河川	長浜市南浜町		
		栽培漁業センター	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務としている。	(86,205)
				〈その他固定資産計〉	107,540,128
固定資産合計					**1,173,446,327**
資産合計					**1,179,742,282**

貸借対照表科目		場所･物量等		使用目的等	金　　額
(流動負債)					
	未払金	沿整増殖場管理点検事業(委託費)	山田漁業協同組合他12漁協	公益目的事業および管理業務に係る未払い分(15件)	583,300
		〃　　(振込手数料)	滋賀銀行下笠代理店		8,800
		温水魚種苗生産放流事業（委託費）	山田漁業協同組合		500,000
		〃　　(振込手数料)	滋賀銀行下笠代理店		550
		栽培センター電気工作物保安管理業務（委託費）	スターエンジサービス（株		36,300
		安曇川人工河川電気工作物保安管理業務（委託費）	〃		52,140
		姉　川人工河川　　〃	〃		47,520
		電気工作物保安業務　　(振込手数料)	滋賀銀行下笠代理店		550
		栽培センター電気代	関西電力（株）		269,552
		栽培センター水道代	草津市上下水道課		4,697
		ﾆｺﾌﾟﾛﾌﾞﾅ調査用消耗品	和研(株)		8,800
		安曇川人工河川ポンプ点検業務	滋賀工業(株)		82,500
		餌代	山平（株）他		312,070
		社会保険料（3月分）	草津年金事務所		301,016
		消費税	草津税務署		1,026,907
				〈未払金計〉	**3,234,702**
	預り金	社会保険料（3月分）	役職員	社会保険料	294,318
		草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費	職員	草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費	1,250
				〈預り金計〉	**295,568**
流動負債合計					**3,530,270**
(固定負債)	退職給付引当金		職員	公益目的事業および管理業務に従事する職員の退職引当金である。	20,630,320
				〈退職給付引当金計〉	**20,630,320**
固定負債合計					**20,630,320**
負債合計					**24,160,590**
正味財産					**1,155,581,692**

役 員 名 簿

（令和2年6月現在）

任期：令和4年の定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏　名
理 事 長	西　嶋　栄　治
常任理事	澤　田　喜　之
理　　事	礒　﨑　和　仁
〃	奥　村　　繁
〃	齊　藤　秀　和
〃	澤　田　宣　雄
〃	中　川　豊　彦
〃	中　嶋　信　夫
〃	二　宮　浩　司
監　　事	今　井　博　章
〃	遠　藤　満　夫
〃	山　田　　実

任期：令和6年の定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏　名
評 議 員	佐　野　高　典
〃	西　川　忠　雄
〃	藤　井　恒　夫
〃	堀　越　昌　子
〃	松　井　弥惣治
〃	松　岡　正　富
〃	望　月　幸　三
〃	山　中　　治
〃	横　江　久　吉